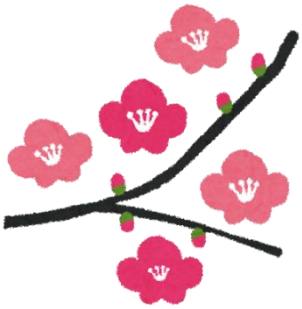
城東小学校　学校だより　夢

令和７年２月２３日

No.20

文責　校長　引地　良典



寒さがやって来るたびに「最強寒波到来！」とニュースが伝えていましたが、もうその言葉を聞くこともなさそうです。梅の花のつぼみも大きくなり力を蓄えているのが目に見えてわかります。まだ寒いですが心は少しワクワクします。学校もあとひと月、子ども達も新しい学年に向けてラストスパートのつもりでがんばって力を蓄えてほしい時期です。

自己肯定感を高める

日本の人は外国の人に比べて自己肯定感が低いという記事を、新聞や本で目にします。自己肯定感は「自分にはいいところがある。」「自分に満足している。」と思える感覚をいいます。低いということは、「自分はダメだ。」「自分に自信がない。」と思っているということです。アンケートをもとにしたデータで比べているので、確かに数字上はそうかもしれません。ただ、日本には「謙遜」という美しい文化があります。「めっそうもない」「私なんかまだまだ」という気持ちが多くの人にあるので、アンケートに「そうではない。」と答える傾向があるそうです。良い点でもありますが、それが挑戦することをあきらめたり、挫折したりすることにつながると悪い点になってしまいます。できないところを直すよりもいいところを伸ばすという考え方で、子どもを「ほめ」「認め」「はげまし」ていくことが大事です。また、「出る杭をたたく」という見方、考え方をやめ「出る杭を引っ張る」ようにみんなでしていきましょう。

２月２７日　オープンスクール

本年度最後のオープンスクールです。ぜひご来校ください。４月からほぼ１年が過ぎました。子どもは子どもなりに周りのことを気にしたり、友達のことで悩んだり、できない勉強に頭を悩ましたりと毎日がんばって、成長してきました。毎日いっしょにいると成長は見えにくいものですが、もし4月と今を比べることができたら、どの子も素晴らしい成長を遂げていると思います。機会をとらえていろいろとねぎらってほしいと思います。

「親は子の鏡、子は親の鏡」です。成長したところ、もう少しがんばってほしいところを３月には親子いっしょに振り返って、共に成長していけるのが理想ですね。図工展も実施していますのでご覧ください。

学校保健委員会を終えて

当日は、校医の先生方と薬剤師の先生に子どもの健康についてご助言を、眼科の福永先生には近視についてご講話をいただきました。暗いところでスマホやゲームをすると近視が進むことや目に近づけすぎると斜視などの他の病気の危険性もあること、外で遊んで日光を浴びることが近視の進行を妨げることなど学びました。１３才ぐらいまでは近視の進行が早いので、気を付けるのは特に小学生の間が大事だそうです。

令和７年度の主な行事予定

予定が決まっているものを３月１日ごろにスクリレや学校サイトでお知らせいたします。今後、変更の可能性もありますのでご承知おきください。